【臨床研究名】

高齢者がん化学療法における実態調査と有害事象発現に関与するリスク因子の探索

【目的】

日本は高齢社会であると言われ、高齢のがん患者は増加しています。2011年の統計によると、年齢階級別がん罹患率は加齢とともに高くなり、男女とも50歳代くらいから増加しています。がんに罹患した患者の70％を65歳以上が占めていることから、がんは高齢者の疾患といえます。一般的に年齢が進むほど、心肺機能、肝血流量、腎機能、骨髄機能などの臓器は低下すると言われています。また高齢者は若年者と比較し、合併症が多いことが知られています。高齢者は不均一な集団とされ、暦年齢のみでは機能状態を予想することはできないとも言われています。以上から日本における高齢者がん治療の実態を調査するとともに、高齢がん化学療法に伴う有害事象に関与するリスク因子の探索を行います。

【対象患者・期間】

新潟大学医歯学総合病院におけるがん化学療法実施患者さん

倫理審査委員会承認後からH33年3月31日

【方法】

がん患者の選択レジメンおよび投与量の実際について年齢を区分し調査します。高齢がん患者のレジメン選択、投与量に影響を与える因子を、患者診療データを用いて解析します。

【個人情報の取扱い】

個人を特定できる情報の取扱いには十分注意し、匿名化を行います。また、この研究結果を公表する(学会発表や学術誌への投稿)場合も、個人を特定できる情報は含まれません。

【倫理審査】

平成28年5月31日　新潟大学医学部倫理委員会承認

【利益相反】

この研究において開示すべき利益相反はありません。

【この研究に同意されない場合】

この研究に同意されない方は、下記までご連絡ください。

【連絡先】

新潟大学医歯学総合病院　薬剤部

担当：坂井　由紀

電話：025-227-2786